

癌化学療法レジメン

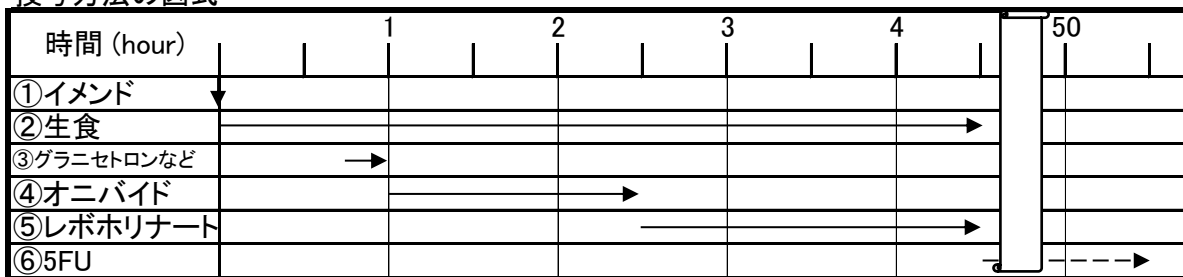
氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

レジメン名 **オニバイド+5FU/I-LV**  
 対象疾患 **がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌**  
 診療科 **外科**  
 施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			オニバイド投与1時間前に1日目を服用
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	グラニセロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分で点滴静注
	デキサート	6.6mg/2mL(2A)			
④	オニバイド	70mg/m <sup>2</sup>		5%糖液500mL	90分で点滴静注
⑤	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>		5%糖液250mL	2時間で点滴静注
⑥	5-FU	2400mg/m <sup>2</sup>		5%糖液50mL	46時間持続静注(総量92mL)

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

1クール2週間。

4 特記事項

- ・ オニバイドは調製後遮光保存とする。
- ・ 5-FUの持続注射は外来時インフューザーポンプを用いる。
- ・ 投与の際はCVポートを使用。(末梢からの投与も可能。ただし溶解液量が違います。)
- ・ UGT1A1の遺伝子多型検査を実施することが望ましい。
- ・ 携帯型ディスポーザブル注入ポンプの調製は換算表を用いてブドウ糖の充填量を計算する